

医療法人 春秋会・社会福祉法人 五蘊会

四季

〈広報誌〉
S h i k i

／ ハートフルな情報をお届け!!

vol.09

創立30周年記念号
2020.1



おかげさまで南クリ創立30周年
これからもよろしくお願いいたします。



医療法人社団 春秋会 創業理念

当法人は、医療及び介護事業を主体とし、それに関連する分野において常により人間的に、より科学的に対応することに徹し、社会に信頼され、絶えず成長し続ける法人を目指します。その実現のために以下の理念を掲げます。

【第一条】本物のやさしさを

全ての人の生命、人間性、自主性そして個性を尊重し、安心しておくれる継続療養の実現を目指します。

【第二条】仕事の質にこだわりを

他者の批判に耐えられ、客観的で妥当性のある仕事を目指し、自らの職務の質的向上に努めます。

【第三条】法律・道徳を守り、自らが理解されるように

職務倫理（プライバシーの保護と守秘義務、強要の禁止、その他）を遵守し、職務内容の説明に努め、理解・同意を求めます。

【第四条】自分の成長のため

自らの職務の社会的意義及び医療・福祉分野での位置づけを自覚し、職務の中での自己実現を目指します。

【第五条】本当のチームワークを

各自、我がままと捨て、仲間への思いやりを持ち、良好な職場環境の形成に努めます。



社会福祉法人 五蘊会 創業理念

社会福祉法人五蘊会は、介護事業及び保育事業を主体とし、それに関連する分野において、常により人間的に、より科学的に対応する事に徹し、社会に信頼され、絶えず成長し続ける社会福祉法人を目指します。その実現のために以下の理念を掲げます。

【第一条】本物のやさしさを

全ての人の生命、人間性、自主性そして個性を尊重し、その利用者が満足する自立した生活の実現を目指します。

【第二条】仕事の質にこだわりを

他者の批判に耐えられ、客観的で妥当性のある仕事を目指し、自らの職務の質的向上に努めます。

【第三条】法律・道徳を守り、自らが理解されるように

職務倫理（プライバシー保護と守秘義務、強要の禁止、その他）を遵守し、職務内容の説明に努め、理解・同意を求めます。

【第四条】自分の成長のため

自らの職務の社会的意義及び福祉分野での位置づけを自覚し、職務の中での自己実現を目指します。

【第五条】本当のチームワークを

各自、我がままと捨て、仲間への思いやりを持ち、良好な職場環境の形成に努めます。

目次

理事長だより ちょうしん記	03
インタビュー 訪問看護ステーション太陽 看護師・マネージャー 西山 菊枝	06
ご挨拶 南長崎クリニック 院長 難波 裕幸	07
医療法人社団 春秋会	
南長崎クリニック(外来・検査・病棟)	08
訪問看護ステーション太陽	11
看護小規模多機能ホームいきいき	12
医療リハビリテーション	13
通所リハビリテーション	14
居宅介護支援事業所	15
法人とは 南長崎クリニック 副院長 永田 清	16
小規模多機能ホームなんくり	17
グループホーム なんくり	18
大浦十三番館デイサービス	19
ヘルパーステーションライフケア、24h安心センターライフケア	20
二本松養生所(グループホーム)	21
二本松荘(デイサービス)	22
長崎市大浦地域包括支援センター	23
南多機関型地域包括支援センター	23
社会福祉法人 五蘊会	
ご挨拶 社会福祉法人 五蘊会 法人本部統括部長 福田 安秀	24
特別養護老人ホーム 琴の浦荘	25
特別養護老人ホーム 琴の浦荘(短期入所生活介護)	26
通所介護事業所 琴の浦荘	27
訪問介護事業所 琴の浦荘 24時間在宅ケアセンター 琴の浦荘 夜間対応型訪問介護事業所 琴の浦荘	28
居宅介護支援事業所 琴の浦荘	29
法人とわたし 特別養護老人ホーム 琴の浦荘 施設長 松永 智志	30
地域密着型特別養護老人ホーム 緑風	31
地域密着型特別養護老人ホーム 緑風(短期入所生活介護)	32
居宅介護支援事業所 緑風	33
法人とわたし 地域密着型特別養護老人ホーム 緑風 施設長 本村 崇幸	33
長崎市琴海地域包括支援センター	34
北多機関型地域包括支援センター	34
幼保連携型認定こども園 とまちこども園	35
法人とわたし 幼保連携型認定こども園 とまちこども園 園長 羽生 純子	36
放課後児童クラブ ゆうゆうクラブ	37
放課後児童クラブ とまちクラブ	37
放課後児童クラブ こすもすクラブ	38
理事・監事・評議員の方々より	39
沿革	40

ちよろしん記

2020
Heartful
Message



「南クリ三〇年の 歩み」のお話し

医

療法人春秋会・南長崎クリニック（以下南クリ）の三〇年を俯瞰してみると、その前身の無床診療所「永田内科」時代の五年と合わせて全体を四

つの時期に色分けする事が出来る。診者数にも恵まれ、本業の内視鏡仕事も多く、忙しく、充実した日々を送っていた。そのまま十分に幸せだったのに、なぜその生活を投げ捨てたのか。

つの時期に色分けする事が出来る。

初期の患者構成の中核をなしたのが勤務医時代からの患者さん達だった。中には重症ケースも

様々の局面で、私の進行方向

あり、その方々には「私について来ないように。あなたの治療には入院設備が必要であり、私には

を決めていたのは常に患者の皆さんだった。私の道標となつて、海

ん達だった。中には重症ケースも

図の無い航海の羅針盤となつたの

それが用意出来ないから」とお

も、かかりつけの皆さん達だった。

伝えしていた。しかし、いざ開

科時代。昭和六〇年四月、

院してみると、そのような方々が

身内のテナントビルにて開業。小

真っ先に新患として受診して来ら

生三八歳。入院の無い気楽さも

れる。時間と共に病状は変化し、

有つて、勤務形態は暦通り。受

やがて危惧していた事態が発生

する。入院そして死。訃報に接

した時、責任を果たせなかった

ことへの後悔と自責、そして、

生死を扱うという内科の医師と

しての崇高な使命を放棄したこ

とへの後ろめたさ。自問自答の

日々が続く。

受診であったが、何か意気込みが違っていた。曰く「しえんしえい（先生）、今、鍋冠山に登って大浦界限を見回してきた。土地はイツパイあるやかね！」。

そんな折、私の背中を強く押

たまた遭遇する。私の揺れる心

した人物がいた。これまでも幾

は定まった。南クリ設立へ。先ず

度となく入院施設を持つように

は土地探しかから。その関連の方々

と進言してくれた方である。こ

には、僅かの面識を手掛かりに

れまでは、大浦地区には十分な

お願いして回った。そして銀行へ

土地を用意できないからと断つて

の事業計画案作り。繁盛してい

きていた。

るとは言っても自己資金は僅か。

その人物とは、長崎船舶装備

それに対して予定される初期投

の創業者で会長の永井稻秀氏

資額は膨大。時は将にバブル期

（故人）。その日は何時もの定期

の真只中。小生四〇歳。

第

一期、草創期。平成二
年十一月南クリ開院。小

生四〇歳台。施設の特徴は何と
いつても重装備と機動力（人員）

である。X線CT装置、超音波装
置、内視鏡機材を充実させ、病

床は一九床であったが全てパイピ
ング（酸素、吸引）設備を装備

した。病棟看護師は三交代で、
夜勤二名体制を維持。「継続医

療から看取りまで」を旗印に、
設立から短期間で救急病院並み

の忙しい状況に突入して行った。
看取りケースも多かった。救急

車の受け入れも、かかりつけ優
先に積極的に展開し、長崎市消

防局より表彰もして頂いた。当
時の医療供給体制は今と比べる

と貧弱で、心筋梗塞も脳卒中も
大病院は尻込みしていた。そう

言う時代背景の中で、南クリは
健闘したのである。この南クリス

タイルは一つのビジネスモデルと

して、その後脳外科や循環器内
科での新しい医療機関の誕生へと

裾野を広げて行く事になる。
医療活動として、顧客満足度

として、医師の達成感として、
一見派手に見えた南クリスタイ

ル。しかし、そこには二つの大き
な計算違いがあった。

一つが、時間貧乏である。医
療の空白を作らぬ為には、医師

が常駐する必要がある。当時の
小生の当直勤務は年間三〇〇日

から三五〇日に及んだ。帰宅す
ることは少なく、まるで籠城状

態にあった。何時、南クリを受
診しても、永田先生が居るとい

う状態であった。子供達は進学
していたので家庭崩壊は免れたが、

常識外れの勤務内容で、常に拘
束されていた。

もう一つが採算性である。見

た目とは裏腹に採算面では窮屈

な状態が続いた。収入も多かつ
たが、それ以上に支出が予想を

超え、特に人件費支出が大きかつ
た。赤字になる事はなかったが、

財務体質は脆弱のまま、一向
に改善しなかった。

患者動向を調査し、往診の時
は患者さんの生活を観察し、地

域の様子を把握していった。この
ままではいけない！このままで

は南クリの未来はない、という思
いが増々募っていく。そういう思

いの中でスタートしたのが介護保
険である。

があった。保険メニューの一つで

あるデイケア事業には、南クリは
数年前から参入していた。意図

した訳ではないが、既に南クリは
介護保険に手を染めていたので

ある。人材も徐々に育って来てい
た。従って、外来系の介護保険

メニューの整備は早かった。在宅
介護支援センター（現在の包括）

事業に参入したのもこの時期で
ある。職員数も急速に増加した。

南クリ発足当時は四五名程度で
あったが、この時期には二五〇名

を超え、現在は二五〇名程度に
達し、五蘊会を加えると五〇〇

名規模に達する。

しかし、私の生活パターンは
一向に改善される事はなかった。

会社が大きくなっても、私に求
められたのは社長業ではなく、

一医師としての責任であった。

一日の大部分が診療に費やされ

第

二期、介護保険黎明期。
小生、五〇歳台。平成

十二年四月介護保険スタート。
時はバブル崩壊後の小泉内閣。

医療保険の赤字解消、高齢化対
策、不景気失業対策と言う側面

る状況には何の変化も無かった。

第

三期、充実期。社会福祉法人五蘊会設立。小生、

六〇歳台。この時期の南クリの弱点は、長期間入所可能な大規模入所施設の整備が遅れている

事であった。平成二〇年、これまでの努力が結実し、長崎市よ

り市立特別養護老人ホーム「琴の浦荘」が、新たに設立した社会福祉法人五蘊会へ民間移譲された。間もなく、地域包括支援センターも委託され、将に地域を担う存在へと成長を遂げて行く。主に医療法人で担う在宅介

護部門、更に社会福祉法人で担う施設介護部門、両部門が介護保険業務の両輪となり、切れ目のない介護業務へと組織化されて行く。五蘊会は、その後風頭に地域密着型特別養護老人ホーム

「緑風」を立ち上げ、更に、認定こども園・とまちこども園、学童保育三か所を整備し、幼児教育の分野にもウイングを広げ、社会福祉法人としての形態を整えつつある。

この時期の小生の当直勤務は、常勤医師の充実や大学の応援もあって大分緩和されていた。しかし、反面その分の人件費負担は重くのしかかってくる。とは言いつつも、創業以来三〇年の間赤字に転落する事はなく、極めて控えめな経営が続けられた事に素直に感謝したい。

現在は当直制から宅直制へ移行し、時間外の診療はお断りしている。「継続医療から看取りまで」の旗印は降ろしてはいないものの、多少色褪せたものと言わざるをえない。時代を見据えての生き残りのための苦肉の方策

であることは否めないものの、素直に皆様にはお詫びを申し上げねばなりません。その分、医療サービス面での質の向上へ向けて知恵を絞ってみます。

速

足でこの三〇年の歩みを概説してみた。さしもの

小生も七〇歳を超えたあたりから、とたんに体力の衰えを感じ、病気にて長期休診のトラブルに見舞われることが増えてきた。患者さんとスタッフに迷惑をおかけする場面も屡々目立ち、ここで一旦仕事より離れることを与儀無くされる状態に陥ってしまった。

多くの患者さんとの出会い、多くの職員との触れ合い、日本の医療制度の変遷と医学の進歩を肌身で味わえる環境にあり、医師の役割・責任について考えさせられ、地域との触れ合いを

意識し、多くの思い出を作り出してくれた南クリ。この確かな充実感と何者にも代えがたい達成感が得られたことを皆様にお伝えして、この稿を締めくくる事にする。

皆様、長い間、本当にありがとうございました。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

巻

頭言であるちようしん記は、今後も私が理事長である限りは執筆を続けます。次号をご期待下さい。



医療法人 春秋会・
社会福祉法人 五蘊会
理事長 永田 剛



訪問看護ステーション 太陽
看護師・マネージャー

西山 菊枝

インタビュー

西山看護師は南クリ創業時からの生え抜きスタッフ。

前身の永田内科時代から、トータル35年の長きに渡って勤務してきました。

その汗と涙と笑顔のストーリーをお送りします。

永田内科創立時のメンバーは先生一人、看護師三人、事務二人。オープンしてしばらくの間は閑古鳥状態で、毎日のようにレントゲンの原理や使い方、心電図や疾病に対しての勉強会を行っていました。さらにスタッフの昼食作りも私が引き受けて、好評だったのはちゃんぽん。豚骨を使ってスープから手作りだったんで

すよ(笑)。それが一か月の間に患者数がどんどん右肩上がりになって。十何人分の待合席が座れなくなり、パイプ椅子をトイレの前まで広げて、とても料理にまで手がまわりません。その頃広告はなく、すべてご近所や商店の方々の口コミです。買い物に行くとき色々なものを持って行ってと言われて、顔を出して歩けませんでした(笑)。

振り返ると、永田先生はとても人に恵まれていると感じます。自然と素晴らしい方々がまわりに集まって来られてアドバイスをくださったたり、患者様が患者様を連れてきてくれて。その頃の方々が今90歳代。知っている方たちが年を取られていくことは仕方がないけれど、入院施設ができるきっかけもなった、忘れられない患者様がいます。ニコッと笑うとこちらもつられて笑ってしまうように可愛い17歳の少女で、うちのアイドルみたいな存在で。冬の間だけ、と入院した他院で亡くなったと聞いた時は本当にきつかった。『患者さんを最後まで見たい、患者さんもよそに行きたくない』この気持ちがひとつとなって、南クリができました。

南クリの設計はスタッフみんなで行ったんです。外来、病棟、検査室と自分たちが一番働きやすい動線を考えて、窓の高さや大きさまでミリ単位で担当者が決めました。普通、そ

んなこと看護師にさせませんよね?でも他の病院に負けないようにという先生の強い思いがあつて。全病室に酸素や吸引器をつけて、内視鏡を使って外科に近い処置も行い、24時間体制で救急車も受け入れていました。朝、私が最初に来て駐車場の一番奥に車を停めるんですが、帰りに出られるかな?と思っっていると、帰るのも一番最後で(笑)。当時の先生は本当に走っていましたし、私もよく働きました。

人生の時間と南クリで仕事をしている時間が重なっていますが、そろそろ自分が行ってきた仕事に自分自身が組み込まれてきていると感じます。利用する立場になっていく時に、こーやって欲しい、これはイヤだ、と思い始めると、側で寄り添うということが必要だな、と感じ出して。だから最近は、側に寄ってその人に合わせたお声掛けをしています。「どうしたの?あなたの笑顔が大好きよ」と話しかけると、ニコッと笑ってください。そうするとやっ、と思います。

長いですよ、永田内科の患者様つて。たまに施設にいる方が外来に連れられると、「まだおつとね?元気にしとるね?」と声を掛けてくださる。すると「いんにゃ、わたしヨレヨレよ」と返して。(笑)。そうして笑って帰っていたんだけど、私の一番の生きがいです。

医療法人社団 春秋会

ご挨拶



南長崎クリニック
院長

難波 裕幸

春秋会30周年

「理念を引き継ぎながら、
いざ自立！」

春秋会は、永田理事長が創設してから今年で30年を迎えることになりました。

この30年間に春秋会は、医療分野だけでなくグループホーム、デイケア、デイサービス、小規模多機能施設など介護分野まで対応できる大きな組織に発展しています。

ここまで至るまでの永田理事長や初期の頃のスタッフの苦勞は並大抵のことではなかっただろう

と頭がさがる思いです。しかし職員も春秋会ができてから生まれた方が多くなり、創立以来のメンバーは理事長と西山マネージャーだけになり世代交代が進んでいます。

職員が入れ代わっても春秋会には、創立以来の「大浦地区の住民の方のかけつけ医としての使命を果たすこと」「検診・人間ドック受診者の方の病気の早期発見に努め健康維持に貢献すること」というこれまでの30年間で培われた文化がすでに根づいています。

理念なきところは、一般企業だけでなく医療・介護の世界でも発展は望めません。

春秋会の理念は、「より人間的に、より科学的に」をスローガンとして次にあげる5条です（1ページ目に詳細を掲載しています。ご参照ください）。

- ① 本物のやさしさを
 - ② 仕事の質にこだわりを
 - ③ 法律・道徳を守り、自らが理解されるように
 - ④ 自分の成長のため
 - ⑤ 本物のチームワークを
- 私たちは職員は毎年新入職員入社時の4月と創立記念の11月にこの理念を読み上げてきました。そしてこれまでの30年間、この理念にのっとり職務を遂行してきました。

その結果、大浦地区の住民の方のかけつけ医

として十分な機能を果たすことができる医療・介護機関になりつつあると自負しています。

今後この理念は受け継がれ私たちの規範となつてゆくことでしょう。

令和2年4月より、私は10年勤めた院長職を退き、永田済先生に交代する予定です。

春秋会の理念、築き上げてきた文化は、私から永田済先生にバトンタッチしても引き継がれてゆくものです。

今後も職員一同慢心することなく、さらに皆様方に頼りにされるクリニックになることを目指してゆきます。





私たちの魅力

医師はもちろん各コメディカルがきらりと光ります。

医療事務・Dr'sクラーク・薬剤師・保健師・看護師・管理栄養士・臨床検査技師・医療放射線技師・パラメディカル・クラーク・管理部など多職種でサポートしています。



南クリドクター勢揃い

各種健診などの予防医療から在宅医療に至るまで、かかりつけ医として全力で取り組んでいます。

内科全般と消化器内科、循環器内科、神経内科を中心とした地域医療に取り組んでいます。

外来を主に、訪問診療、オンライン診療も積極的に行っており、常に患者様の在宅医療の充実を心掛けています。

専門的治療が必要な患者様には専門医療機関をスムーズに紹介できるような、密な連携をとっています。

物忘れ外来も行っており、日常生活に不安を感じている方や、そのご家族はぜひ一度ご相談ください。



看護師の優しい笑顔



美男・美女の医療事務とDr'sクラーク

より人間的に、より科学的に そして豊かな在宅療養を



各種検査、揃えています

万全の検査システムで

病気の早期発見に努めます。

疾患に対して素早く的確な診断ができるよう、胃カメラ、大腸内視鏡、CTなど各種検査装置を取り揃えています。

平成30年から、大腸がん検査をCTで行えるようになりました。検査前日から検査食などを摂って頂くことにより、大腸内視鏡検査と比べ下剤の量が少なく、痛みを伴いにくい検査となっています。当クリニックの医師に加え、遠隔読映システムによって放射線専門医による二重チェックを行っています。2人の医師が読影することにより、小さな変化も早期発見できるような体制を整えています。

成人病やガン、生活習慣病が社会的問題になっていますが、いずれも早期発見、早期治療が大切です。継続して健康診断を受けることができるよう、各種検診、人間ドックのメニューも取り揃えています。人間ドックは普通の健康診断とは違い、多くの項目で検査を行い、病気の早期発見につなげることができます。

当院では、胃内視鏡コース・大腸内視鏡コース・大腸CTコースの3つのコースを用意しています。



ベテラン揃いの検査スタッフ



検査の前には綿密な説明を行います



定期的な人間ドックがおすすめです



私たちの魅力

医師、看護師、セラピスト、訪問看護師、ケアマネジャーと連携し、入院中はもちろん、自宅に戻られた後も療養生活が継続できるよう連携しサポートしています。



おいしい料理を作る栄養部



明るく快適な共有デイルーム



点滴の確認です。患者様の事は常に診ています

病棟には18床のベッドを配置し、病状の悪化などで自宅や施設等での生活が困難になった患者様が療養を行えるようになっています。病状が安定し、再びご自宅での生活が送られるよう、入院中もセラピストによるリハビリを提供しています。

病室は個室・2人部屋・4人部屋を準備しており、患者様の状況に合わせて、充実した環境を整えています。また、食事は栄養士が工夫を凝らしたメニューで、療養中の楽しみとなっています。

在宅療養の継続のため、入院での集中的な治療を提供します。

当院の病棟は、自宅での生活を続けるための療養場所です。



私たちの魅力

「訪問看護の職員を知らない人はいない!」と自負できるほど、医療介護を問わず春秋会の全ての事業所へ顔を出し、在宅と医療介護の架け橋となっています。利用者約100名の半数近くが地域の医療機関や居宅介護支援事業所からの紹介で占めており、大浦を中心とした地域を飛び回っています。また地域の勉強会や講演会などに参加し、職員の資質向上も努めています。私たちは地域住民の方々を広く支えている事業所であると自信を持って活動しています。



精鋭揃いの訪問チーム

持病の悪化や転倒などは予期せず起こり、生活に不安を感じ苦労される方も多いと思います。『ご自宅ですしでも長く、安心して暮らせるように力になりたい』と思いつつながら、私たちは今日も笑顔をお届けに参ります。



今日は調子が良さそうですね



どこへでも訪問します

皆さんと一緒に、 医療を身近なものに

看護師・保健師・言語聴覚士・
理学療法士が自宅にお伺いします。

私たちの一日は元気にチャイムを鳴らすことから始まります。

主治医の指示の下、ご自宅に訪問し、お身体に変化がないか伺います。訪問後、関連する機関と情報を共有し、気になることがあればすぐに対応します。他にも、ご利用者ご家族のライフスタイルに合わせて、ご自宅で安心して行える専門的な医療ケアや介護ケアをお伝えします。また転倒や誤嚥性肺炎の予防などを目的としたリハビリも行います。



看護小規模多機能ホームいきいき



人と町とあなたを繋ぎ、
いきいき生活を支援します。
色々な地域の中に
おじゃましています。

住み慣れた地域(自宅)で生活できるよう、なじみの職員が『通い・訪問・宿泊』のサービスを行います。また、その方に応じた支援内容を提案させていただきます。

小規模多機能ホームでは、日々の生活の中に多くアクティビティを組み入れて、利用者様に楽しんでいただきます。その中で毎月、敬老会、外出ドライブなどの行事・企画を行っています。特に外出には力を入れており、近隣のちょっとしたお出かけから帆船祭りなど、利用者様に季節や地域行事を体感してもらっています。

看護小規模多機能という、医療と介護を両立させた施設が、医療機関と同じ建物内にあるという強みを生かしたサービスを提供しています。

私たちの魅力

若い職員からベテランの職員までバランスよく配置し、みんな切磋琢磨しながら仕事に取り組んでいます。また、看護師、リハビリスタッフなど様々な職種へ気軽に相談できる環境があり、利用者様の生活のお役に立っています。



あの島はどこだろう？



急に紅葉が見たいということで「戸町水源地」へ来ちゃった♪



スタッフは美人揃い



私たちの魅力

創立30周年の輪は、診察室の外へも広がっています。大浦地区を中心に患者様同士が顔見知りの場合も多く、リハビリフロアで会った際に昔の思い出話に花が咲くことも度々です。スタッフも常に明るい雰囲気づくりを心掛けており、笑顔の絶えないリハビリフロアになっています。



ストレッチ中です。「痛くないですか?」

患者様の病状を把握しながら、入院中または外来でのリハビリを行っています。また、介護保険を使用した短時間通所リハビリを同一フロアで実施しており、医療的な知識を活かしたりリハビリを提供しています。的確な評価を行い、利用者様に必要な個別訓練を提供するとともに、続けやすい自主訓練を考案したりと、ご自宅でも行えるような工夫をしています。

運動機能のみでなく、認知機能や嚥下機能・栄養状態もしっかり評価をした上で関係職種と連携を図り、病気の重度化防止に寄与できるよう日々精進しています。



送迎時間も退屈しませんよ～



明るいスタッフが揃っています★

ご自宅や住み慣れた地域で長く暮らしていけるようお手伝いします。

地域の皆さんの心に寄り添ったリハビリを目指します



通所リハビリテーション



私たちの魅力

当施設は、様々な職種スタッフや設備により、利用者様やその家族のニーズへ柔軟に対応し、利用者様へ出来る限りのサービスを提供しています。また、アクトや各行事等により利用者様に楽しみを持ってもらいながら、日常生活の充実度の向上を目指しています。



送迎は安全第一を心掛けています

通所リハビリテーションとは、在宅生活を送っている要介護者や要支援者が、より自立した日常生活を送れるよう支援する介護サービスです。主なサービスとして、自宅への送迎、リハビリ、食事、入浴、口腔ケアなどがあります。日常生活の自立を助けるために理学療法、作業療法、言語療法等の必要なりハビリテーションを行い、利用者様の心身機能の維持・向上を目指しています。また、介護者(家族)の介護負担軽減も目的の一つとしており、重介護者の食事・入浴の介助支援や家族等への介助方法の指導なども実施しています。

通つてくださる利用者様に、
楽しみながらできる
リハビリテーションを提供しています。

利用者様が楽しみ、 また来たくなる通所リハビリへ



セラピスト～、整列!



看護師や歯科衛生士も配置。
専門性を生かして関わっています



私たちの魅力

医療機関併設の事業所なので、診療や入院、リハビリ、訪問看護等の医療系サービスについてのご相談も迅速に対応できます。

主任介護支援専門員をはじめとした10名以上の介護支援専門員を配置しています。男性職員も女性職員も個性豊かなメンバーです。

その強みを十分発揮して、個別の相談に応じて柔軟な対応をすることができます。

- ・介護が必要になった方やそのご家族への相談援助
- ・介護申請や更新申請等の代行
- ・ご本人の在宅生活の継続のために最も適したサービスの選択や提案
- ・介護サービス事業者との連絡・調整
- ・サービスに関する苦情の受付や取次ぎ
- ・施設入所についての相談援助

私たちは介護支援専門員は地域の高齢者やそのご家族にとって身近な地域の相談窓口でありたいと思っています。

具体的には次のような業務を行っています。

「もう一人の家族」
プラス1
介護保険の申請を考えている方やサービスの利用をご希望の方は、お独りで抱え込まずに、まずは気軽ににご相談ください！



介護の相談は私たちにお任せください



幅広い年齢のケアマネジャーたち



ケアプランを作ります



南長崎クリニック
副院長

永田 濟

法人とは

みなさんは「法人」という言葉について考えたことがあるでしょうか？「よく目にはするけどよく知らない」、「法人？国の人？」、「そういうえば学校法人、宗教法人とか聞いたことあるけど……」、「別に知らなくても生きていけるしどうでもいい」などいろんな声が聞こえてきそうですね。今回はその数ある法人の中でも我々が日々関係している「医療法人」というものについて少しだけ解説したいと思います。

医療法人と聞いてどのようなイメージを持たれるでしょうか？正確なイメージを持つためにはまず言葉の意味、定義を知ることから始めましょう。

医療法人という言葉の定義は以下の通りです。「病院、医師もしくは歯科医師が常時勤務する診療所または介護老人保健施設を開設しようとする社団または財団」(39条1項)と医療法で定められています。

次に「法人」とはどのような意味なのでしょう。一定の社会的活動を営む組織体で、法律により特に権利能力を認められたものをいう。つまり生身の人間のように体があるわけではないが法律上、人とみなされる存在と言えます。よって医療法人というのは、人格を

持ち経済活動を行う国から認められた人ということになります。ここでいう経済活動とは我々が普段行っている医療活動のことですね。かけがえない生命、身体の安全に直接関わるだけに営利を目的とせず社会貢献を第一とし安定的普及を図るため医療法によって定義されている人ということになります。私たちはこの法的理念に基づいて賛同し、私たち独自の理念も織り交ぜ後ろ盾としながら、日々全力で患者様の生命・身体の安全に取り組んでいます。医療法人は都道府県の管轄となり決算関係の書類の提出、チェックなどを厳重に受けています。それらも含めて公的に認められている組織であるといえます。

皆様の信頼に答えることができるよう、今後も我々はそれぞれの力を余すことなく地域医療へと注ぎ込んでいく所存です。

いかがでしたでしょうか。かなりざっくりとした説明ですので逆にわかりにくかったかもしれませんが、少しでも医療法人というものに対する理解が深まれば幸いです。ありがとうございました。





私たちの魅力

我々は利用者様との距離感を第一に考え、関わりを持たせて頂いております。医療・介護面はもちろんのこと、人と人との繋がりが生む安心感と信頼感は事業所に来て頂ければすぐに感じられるはずです。



私が綺麗に盛り付けました



みんなで楽しくレクリエーションタイム



おやつを作ってます～「美味しそう」

通い・訪問・宿泊を軸としたサービスを
行っています。サービスは出来る事に細かく
内容が分かれており、皆様のご自宅での生
活状況に合わせた提案を行わせて頂いてい
ます。「どこまでしてもらえるの?」「どん
なサービス内容なの?」等、疑問になりまし
たらいつでもご相談下さい。皆様の毎日の
生活のお手伝い出来るかもしれません!

通い・訪問・宿泊を軸に
在宅生活のサポートをいたします。

その思い、 いただきます!



住み慣れたこの場所で、
あなたの笑顔を守ります。
自宅での生活が難しくなっても、
住み慣れた地域での生活を
サポートします。

現在グループホームなんくりは、平均介護度2.8、平均年齢は89歳。最年少の方が82歳、最高齢は101歳のご長寿の方がおられ、合計27名のご入居者が生活をされており、その方々を22名の職員で日々支えています。

行事に力を入れており、家族と入居者様の交流の機会を提供する家族会や、3月には創立祭、8月は夏祭り、10月は大浦くんち、そして12月には餅つき等、年間を通して様々な行事を行っています。

医療と連携し、安心のもとに穏やかな日常を提供できる環境にあります。
皆様是非とも一度ご来所されてアットホームな雰囲気をご確認下さい。

😊 私たちの魅力

スタッフは皆、個性豊かでベテランも多く、経験からくる落ち着いた対応力が一番の魅力です。



暮らしもリハビリです。
仲良く洗濯ものを畳んでいます



明るいスタッフがサポートします



優しいスタッフに囲まれてご自分の家と変わらない暮らしを送っています



私たちの魅力

利用者様にとって『楽しい』が満載のデイサービスです。職員は老若男女(笑)それぞれに個性溢れています。常に利用者様に寄り添う施設づくりを実践しています。



私たちと楽しい時間を過ごしましょう♪

明るいフロアでゆつくりとくつろぐ利用者様、マシントレーニングやリハビリに励む利用者様。利用者様の一日は様々です。昼食後のカラオケのほか、曜日ごとに職員による脳トレや国語の授業、習字・絵手紙・音楽教室等の時間があり、楽しみながらいつのまにか認知症予防や転倒予防に取り組んで頂いています。そのほかにも買い物支援など、隣接のヘルパーステーションと連携を図りながら利用者様の今を支える努力をしています。また、半日のミニデイサービスや短期集中サービスも行っています。



楽しいイベント計画中!! 何が良いかな?



私たちがお待ちしております

明るいフロアとスタッフに囲まれて、自分らしく楽しく過ごしてみてもいかがですか?!

自分でできる喜びと、笑顔あふれる憩いの場



ヘルパーステーションライフケア 24h安心センターライフケア

〈お問い合わせ〉

☎ 095-827-1070
☎ 095-893-5112



最後まででの在宅での 生活を支援します

自宅での日頃の生活から、最後の
看取りの時までサポートいたします。

大浦地域を中心に、住み慣れた在宅での
支援を行うために、介護サービス、障害サー
ビス、移送支援と多岐にわたってサービスを
提供します。

最大の特徴としては、ご自宅での転倒や
急病などにより支援が必要になった場合、
24時間365日いつでも駆けつけられる体
制をとっており、在宅生活が「安全・安心」
を確保できるようにサポートいたします。

斜面地が多い地域ではありますが、ひと
りでも多くの方が永く在宅で日常生活を送
れるよう、買い物等の生活支援や食事介助・
入浴介助・通院(病院)同行といった身体介
護を行っています。

私たちの魅力



- 「全ての仕事に笑顔で対応し、自信と責任を持つ」をモットーとしており、職員の笑顔が多い職場です。
- ・月に1回は全職員対象で勉強会を開催し、職員の自己研鑽に努めています。
 - ・職員研修として、男性職員も参加した調理実習を行っています。



移送支援の風景



調理実習を開催中。男性も頑張っています



スケジュール調整、大変です



私たちの魅力

地域の協力を得ながら地域行事に参加したり、1階のデイサービスと合同で行う行事等を通じて、数多くの人との関わりを持って頂く場面づくりを心掛けています。

入居者様は体と頭の運動も1日のメニューとして実施しています。



幅広い年齢のスタッフが揃っています

私はわたしらしく
あなたはあなたらしく

長崎港を一望できる鍋冠山公園の向かいにある建物の2階に位置するグループホームです。全て個室になっており、ベッド・エアコン・カーテン・クローゼットなどは備え付けられています。訪問診療(月2回)、看護師の訪問(週1回)、心療内科医の訪問診察(月2回)等充実した医療体制が整っており、入居者、家族、スタッフにとって安心できる環境を整えています。

グループホームの中で3名まで利用できる認知症対応型通所介護も運営しており、将来入居を考えている方がスムーズに移行出来る環境を用意しています。



風船バレーで運動中



テーブルホッケーが白熱中!

のんびりと穏やかに ほのぼのと



二本松荘(デイサービス)



私たちの魅力

利用者様からは、「二本松荘では昼食とデザートが手作りでとても美味しい」と好評をいただいています。毎週水曜日には陶芸教室が開催され、オリジナルの作品を作ることができます。二本松地区との交流の機会もあり、地域の方々に支えられながら合同行事や交流会などを行っています。



週に1度の陶芸教室



おいしい食事を作りま〜す



私たちが二本松荘スタッフです

自然と身近な環境で、
やりがいを見つけて見ませんか？
戸町にあり、近くには鍋冠山展望台があります。公園が目の前で車の通りも少なく、環境の良い立地を生かしたりハビリや運動、眺めのいいお風呂で心も体も癒されます。2階にはグループホームがあり、ご希望に合わせた利用が可能です。

自然いっぱい、笑顔いっぱい 人と人との繋がりの場



長崎市大浦地域包括支援センター

『いつまでもこの町で暮らしたい』
を応援します



長崎市大浦地域包括支援センターは、大浦中学校・梅香崎中学校校区の65歳以上の高齢者(7758名・高齢化率36%)の総合相談窓口です。

地域住民の心身の健康維持や生活の安定、保健・福祉・医療の向上、財産管理、虐待防止など様々な課題に対して、地域における総合的なケアマネジメントを担い、課題解決に向けた取り組みを実践していくことを主な業務としています。現在、主任ケアマネージャー2名、社会福祉士1名、保健師2名、認知症地域支援推進員1名、ケアマネージャー3名の計9名で、それぞれの専門分野の知識を生かし「チーム」として高齢者をサポートしています。

私たちの魅力

- 色々な困りごとのワンストップ相談窓口としての機能を果たします!
- 迅速に対応します(斜面地や階段地域も何のその!)
- 一人ひとりに寄り添い真心こめて対応します
- 連携して皆さんを支えます(チームワークはお任せあれ!)
- 自立して生活できるよう支援します
- 暮らしやすい町づくりに努めます



南多機関型地域包括支援センター

困ったなあ
気になるなあ
と感じたら、
南多機関へ!!

子育て、障害、介護、お金のことなど、何を相談したらよいかわからない、どこに相談したらよいかわからないといった方々の悩みや問題をワンストップで受け止め、悩みを一つずつ整理しながら様々な支援機関と繋がって、解決に向けて支援する相談機関です。このような方が地域で暮らしていけるよう、さらに相談できない方を見つけていけるよう、支援のネットワークを専門機関、地域の方々と一緒に作っていけるような働きかけも行っています。



社会福祉法人 五蘊会

ご挨拶



社会福祉法人五蘊会
法人本部統括部長

福田 安秀

ら五蘊会の職員へと変更して継続採用された2名の職員でした。法人職員数34名での運営開始。当初は毎日が笑いあり涙ありの感動ドラマの連続でした。

あれから11年。現在法人職員総数211名。夜勤を志願した2名は現在も活躍中です。また法人の事業も琴海、戸町、桜馬場、大浦の4地域へと広がりました。

では、各地域のこれまでの軌跡をご紹介します。

【琴海地域】

琴の浦荘運営当初から地域との交流・連携を徹底して推進。新たな地域ニーズに応じて在宅介護事業を開始。

平成24年度、長崎市から琴海地域包括支援センターの運営を受託し、市の施策を具現化した地域支援事業を展開。

平成25年度、琴の浦荘を新築・移転。全室個室の特養として個別ケアを推進。

『地域が二つの施設。道路が「廊下」自宅が「居室』』と捉え、24時間定期巡回サービス事業を開始。

平成28年度、放課後児童クラブこすもすクラブの運営移譲を受託。同年8月、長崎市が国のモデル事業として設置した北多機関型地域包括支援センターの運営を受託。

現在琴海地域における活動は、高齢・障がい・児童等を含めて「丸ごと」つながる地域包括支援体制の構築へと進化しています。

【戸町地域】

平成23年度より長崎市から長崎市立戸町保育所の移譲を受け、「幼老共生」の実現を目指して地域に根差した運営を開始。平成27年度、幼保連携型認定こども園に移行。令和元年にはとまちこども園の大規

模改修工事が完了し、ピカピカに生まれ変わった園舎で保育教育活動を行っています。また、平成29年度に放課後児童クラブとまちクラブを戸町小学校内に開設したことで、0歳から12歳までの子どもへの育ちの連続性を重視した子育て支援を保護者、学校、地域との連携のもと推進しています。

【桜馬場地域】

平成29年度、学校法人玉木学園から用地提供の協力を頂き、地域密着型特別養護老人ホーム「緑風」を開設。運営推進会議を通して施設運営状況や地域の現状、要望を共有することにより、「施設と地域」が「信頼と協働」を積み重ねています。

【大浦地域】

平成29年度、保護者や地域関係者からの相談に応じて大浦小学校内に設置された放課後児童クラブゆうゆうクラブの運営を受託しました。大浦は医療法人の拠点地域です。医療法人の関連施設の利用者との交流を重ねています。

五蘊会の軌跡は、いつも利用者や地域の方に教えて頂き、支えられ、そして育てて頂いた歩みでもありません。社会福祉法人の存在意義や目的は「地域づくり」そのものであり、当法人が展開する事業や地域貢献活動はそのための目的や手段である。ことの自覚と責任を再確認しました。

今後も急激な社会の変化に柔軟に対応しながら、地域福祉の拠点として利用者満足と地域満足の最大化に法人総力を挙げて邁進してまいります。

地域と共に 五蘊会の軌跡

平成20年。長崎市から市立特別養護老人ホーム琴の浦荘の民間移譲先法人として見事選定され、社会福祉法人五蘊会が設立されました。

法人名の「五蘊」は理事長が般若心経の冒頭の二行にある「照見五蘊皆空」から引用し、命名しました。

五蘊会の開設職員として南クリ職員の中から私を含めて6名が抜擢されました。南クリから琴の浦荘まで往復70キロ。毎週琴海へ足を運び、昼間は定例引き継ぎ会、夕方からは職員研修を継続開催。皆で必死になつて準備を進めました。

平成21年4月1日午前零時に長崎市から五蘊会へと運営主体が移行。前代未聞のこの瞬間を担う夜勤担当を自ら志願したのは、この瞬間に市の嘱託職員が



私たちの魅力

1 「多職種協働で安心ライフ」
介護・看護・リハビリ・栄養・ケアマネジャー、またご家族様とチームを組み、入居者様が安心できる「暮らし」をサポートします。

2 「施設が地域に入っていく」
・地域イベントや地域の清掃活動への参加、小中学校との交流、職場体験の受け入れ等、積極的な地域との関わりを大切に活動しています。
・施設に入居しても入居者様と地域との関係性をつなぐことが施設の役割と考え、地域サロンへの参加、自宅への外出支援等、わたしたちが「出向く」意識で地域へ入っています。

入居しても「ここが我家」と感じてもらえるよう、入居者様がこれまで歩んできたライフスタイル、その方らしい「暮らし」を大切に考え、個別ケア(ユニットケア)に取り組んでいます。
入居者様ご自身が出来ることを大事に、わたしたちが主体的にサービスを提供するのではなく、入居者様が「主体」となって今までの暮らしが継続できるよう、多彩な専門職が協力し、入居者の日々の生活を支援しています。

地域を感じ、その人の尊厳と
これまでの生活を大切にします。
暮らしの継続 新たな「我家」



お話ししながら食事介助



出来る事は、皆様と一緒に



利用者様やご家族の
ご意向に沿った
支援を行います。
自宅での生活をそのままに

長崎市内をはじめ、西彼町、時津町、長与町にお住まいの方が、ご家族がご用事の際や介護の休憩をしたいな、とお考えのときにお泊りができるサービスです。なじみの場所になった後には施設内にある老人ホームへ安心して入居ができるよう、利用者様を中心に介護職員や看護師、機能訓練指導員、管理栄養士などの専門職が手を取り合って、日常生活の中の困りごとをサポートしています。

私たちの魅力

1 「通いなれた施設でなじみの友人との交流ができる場」
老人ホームやデイサービスのご友人と春にはお花見、夏にはスイカ割り、秋には芋掘り、冬には餅つきなど季節感を感じられるイベントを通じて交流をされています。
利用者様のご希望に沿ったイベントを企画しており、カラオケ好きな利用者様の歌謡ショーも開催しています。

2 「運動ができるお泊りどころ」
機能訓練指導員を配置しており、利用者様の身体や家屋の状況を確認し、起き上がりから立ち上がり、歩行、排泄動作などの日常生活の中で動きにくさを軽くできるよう、個別でのリハビリを実施しています。ご利用時に身体機能を確認し、その方の体力に合わせた目標を作り、体操を行っています。



趣味活動も充実しています



ボール体操頑張ってます!



私たちの魅力

職員にはPT、OT、Ns、介護福祉士等専門職がたくさんいます。琴の浦荘デイサービスをもう一つの我が家のように感じていただき、楽しく自分らしく過ごして下さるように、専門職が一致団結して、利用者様に寄り添う心の介護を大切にしています。また、行事等では地域の皆様との交流を大切に、地域の活性化にも取り組んでいます。

様々な活動に参加する中でできる事々を見つけたら、やってみたいけど家ではなかなかできない事々を職員と一緒に実現したりしましょう！そのために、職員は利用者様一人一人のお声を聞かせていただき、ケアをさせていただきます。また、理学療法士、作業療法士による運動や機器を使ったトレーニングが充実！趣味活動では、編み物や貼り絵・塗り絵等の作品作りを行ったり、卓球やキャッチボールなどアクティブな活動も行っています。利用者様も職員もとても活動的で活気があり、いつも笑いが絶えないデイサービスです。

あなたと創る デイサービス

できる事の発見、
したいことの実現



ゆっくり入れる大浴槽



一人一人に合った訓練を組み立てます



管理栄養士による健康メニューです



社会福祉法人 五蘊会
訪問介護事業所 琴の浦荘
24時間在宅ケアセンター 琴の浦荘
夜間対応型訪問介護事業所 琴の浦荘



私たちの魅力

- ・ 訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、生活援助サービス、障害サービスなど、幅広い種類の訪問サービスを提供しています。
- ・ 様々な年代のヘルパーがそろっています。
- ・ 施設経験のある職員が多く、確かな介護技術で、安心のサービスを提供しています。



利用者様の家の防災についても話し合っています

私たちは、利用者様の生活スタイルを尊重して個別のケアを行っています。ご自宅での生活に直接関わるヘルパーだからこそ、利用者様のわずかな変化にも気づくことが出来るのです。琴の浦荘には様々な職種と連携し、ご自宅での安心した生活をチームで支えることが出来るメンバーがそろっています。また、介護の方法等、専門的な知識の伝達なども大事な役割だと考えています。「介護」というとできなくなったことを代わりに行う印象を抱きがちですが、できる限り利用者様の意欲を引き出し、利用者様の自立に向けた支援を心掛けています。



介護福祉士の資格を持ったオペレーターが緊急対応



定期巡回の緊急通報装置

お一人お一人の
できないを支援します

私たちが支える、
暮らしの安心！



私たちの魅力

- 1 利用者様、ご家族の想いに寄り添った支援!
男性2名、女性4名、計6名の個性溢れるケアマネジャーが皆様のご相談を承ります。利用者様、ご家族が気軽に相談できる身近な存在になれるよう、日々頑張っています。
- 2 チームワーク重視!
ケアマネジャーの仕事は1人で仕事を抱え、悩みがちな仕事です。みんなが仲間への思いやりを持ち、アットホームな雰囲気の中、相談しやすい環境でチームワークは抜群です!



定期的な勉強会を開いています

もう1人の家族のような身近な存在として「親切、丁寧、迅速」に、利用者様やご家族が安心して生活が送れるよう、支援致します。



様々な専門職と連携しています

介護・医療に関する専門的な知識を持った、ケアマネジャーが介護保険制度に基づき、介護が必要な方のサポートをする仕事です。利用者様やご家族と相談しながら必要と思われるサービスをアドバイスし、介護サービス計画(ケアプラン)の作成、関係機関との連絡、調整を行います。



男性ケアマネも活躍中

家族のような身近な存在を
目指して

私たちが「介護について
何でも相談できる窓口」です。



特別養護老人ホーム 琴の浦荘
施設長

松永 智志

法人とわたし

「春秋会で学び」

「五蘊会で成長」

南長崎クリニック、開設30周年おめでとう
ございます。

令和2年がスタートしました。

私は、南長崎クリニックが開設10周年を迎えた節目の年に春秋会へ入職し、早いもので介護の仕事に就いて今年で20年が経ちました。春秋会の節目が、自身の介護職としての職歴の節目でもあります。春秋会で14年間、五蘊会で6年間と両法人で様々な経験を積ませていただきました。

その中で感じていることは、「春秋会で学び」「五蘊会で成長」させてもらった20年間だったということです。

春秋会で、介護という仕事に対して全くの素人で初心者だった私を受入れていただき、仕事をスタートしました。早速の現場実践の中で、利用者様への対応に戸惑いながらも諸

さや新しい職員も含めてたくさんの人と向き合う場面等、さらに経験を積み機会をいただきました。このことが今まで以上に管理職としての職責について責任の自覚が芽生えるきっかけとなり、両法人での経験があったからこそ、今まで気づくことがなかった様々なことに気付かせてもらったとの思いがあります。

先輩方からの叱咤激励を頂きながら、あなたたかい目で見守っていただき、仕事を覚えていったことを、今でも懐かしく思い出します。介護の基本的な研修であったヘルパー2級研修（現在の初任者研修）受講を皮切りに、一つ一つ関係する資格を取得することで一歩一歩前進しながら、専門職としての意識が年々、増してきたように思います。また、管理職を拝命して部門をまとめていく難しさ、事業所運営の考え方等、数えきれないほど色々な事を経験させて頂き、学びを深めていきました。

五蘊会では、今まで経験したことがない、初めての事業（特別養護老人ホーム）の立ち上げにチームの一員として参加し、琴海という初めての土地で、地域との関わりを通じて、様々な事業に携わりました。運営していく事の難し

南長崎クリニック30年間の歴史のなかで両法人をまたいで過ごした20年間、良い事ばかりではなく、大変だったこともそれなりにありましたが、それらの経験を両法人で重ねてきたことで、今の私があると思います。現在、立ち上げ時に関わっていた特別養護老人ホーム琴の浦荘の施設長になり、3年が経過しようとしています。施設長職を拝命した時の気持ち、また、20年前に介護の仕事をした時の初心を忘れず、入居者（利用者）様、ご家族、地域の方々、職員も併せて、琴の浦荘に関わるみなさんの「安心」に繋がる施設づくりに努めていきたいと思えます。今まで育てていただいた法人への、感謝の気持ちを忘れることなく、その気持ちを行動に変え、今後も両法人の更なる発展と飛躍のため、尽力していきたいと思えます。



私たちの魅力

長崎の港を見下ろす風頭山にあり、春は桜、初夏には紫陽花が咲く花の名所として知られる風頭公園を望む好立地にあります。緑風の名の通り、緑香る風の中、緑色の制服に身を包んだ専門職の職員が介護の質にこだわりを持ち、元気に明るく対応します。



屋上から見る景色

長崎市在住の要介護3以上の高齢者が入居の対象で、入居定員が29名以下であることが義務付けられた、地域密着型特別養護老人ホームです。規模が小さいため、家族的で親密なサービスが受けられることや、住み慣れた地域での生活を続けることができるという特色があります。また、居室は全て個室で、入居者様10名を1つの単位としながらも、個々の入居者様に寄り添った個別ケアを行うユニット型の施設です。入浴、排泄、食事の介護、日常生活のお世話、機能訓練、健康管理を行うことにより、入居者様が各自の能力に応じて自立した生活を営むことができるようにすることを目指しています。



イベントも盛りだくさんです



様々な観葉植物がお出迎えます

住み慣れた地域で
あなたらしい生活をサポート。
『入居者様本位のケア』を
実現します。



私たちの魅力

時には親子のように、時には姉妹のように、時には友達のように…

利用者様が心を許すことが出来る存在に、少しでも近づけるように、私たちは日々研鑽を積んでいます。また、幅広い年齢層の職員で、利用者様に楽しんで頂けるように様々な行事企画をしています。



広々とした屋上



晴れた日の外出風景です



随時相談を受け付けています

緑風の3階で定員10名のショートステイとして運営しています。
住み慣れた地域で、穏やかに在宅生活が継続できるよう、緑風のショートステイは、地域の在宅介護を支えていく存在・場所でありたいと考えています。
利用者様には快適な居住環境と、心のこもった介護サービスを提供させていただきます。ぜひ、一度ご利用してみてください。施設見学にも随時対応しています。

地域のためのショートステイ、
なくてはならない存在・場所を
目指して。

なくてはならない存在。
場所を目指して



私たちの魅力

1 「フットワークの軽さが自慢です」

在宅での困りごとに、その名の通り「緑の風のごとく」迅速にかつ丁寧に対応させていただきます。

2 「地域の福祉活動に積極的に参加しています」

高齢者いきいきサロンや地域の行事などに参加し、地域にとけ込み、地域に根差した事業所を目指しています。



介護の悩みごと・困りごと
お任せください！

居宅介護支援事業所 緑風は、2018年4月に風頭町に開設されました。私たち緑風のケアマネージャーは、利用者様の立場に立つことと、ご家族の思いを大切にすることが常に心がけ、日々の業務に励んでいます。在宅での生活を送る高齢者の方やご家族が、介護が必要になっても安心して生きがいのある生活が保てるよう、福祉・保健・医療の各事業所と連携を取り、サポートさせていただきます。介護サービスについてのお問い合わせや介護に関する相談など、在宅生活にお困りの場合は、ぜひ居宅介護支援事業所「緑風」にご相談ください。

法人とわたし



地域密着型特別養護老人ホーム 緑風 施設長

本村 崇幸

南長崎クリニック、開設30周年おめでとうございます。15年前に春秋会二本松荘に準職員として入社し、介護福祉士を取得した後、正職員として小規模なんくりの新規開設スタッフ、その後ショートステイ、居宅のケアマネジャーを経て、H28年に緑風開設のため五蘊会に異動し、H29年に緑風の施設長となりました。これもこれまで私に関わって頂いた諸先輩方をはじめ、多くの利用者様やご家族との出会いと別れ、また大役を任せて下さった理事長のおかげであると心より感謝しています。

入社後、私の信念である『利用者様の立場になって物事を考える』という考えを貫き、ただがむしゃらにやってきたように思います。今を突破しないと先へは行けない。ここでやれないなら何処へ行ってもやれない。常にそう考えていましたし、今もそうです。緑風のある風頭町との関わりは、はや4年近くになりました。とにかく人情に厚く、これからの地域のことを真剣に考えている方が多いという印象で、日頃からお互いの年中行事へ協力体制をとっており、持ちつ持たれつとても良い関係を築けていると実感しています。春秋会、五蘊会は様々な事業運営を通して、地域社会への貢献をしています。それは様々な信念をもって頑張っている職員一人一人の成果でもあります。私が目指す施設は職員一人一人が、安心して、やりがいを感じながら自分磨きが出来る施設です。その目標に向かう日々の積み重ねが入居者様にとつての穏やかな日常、地域社会への貢献へと繋がるよう、今後も尽力して参ります。



長崎市琴海地域包括支援センター



〜ひと声かけて〜
琴海で楽しく長生きするために



私たちの魅力

- 1 社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員のスタッフが配置されており、それぞれの専門性を活かしたチームワークを大切にしています！
- 2 琴海地区は移動手段が少なく、来所困難な方も多いため、出張相談を積極的に行っています。フットワークの軽さは私たちの自慢です！

琴海にお住まいの高齢者及びそのご家族や関係者のみなさまに対して、心身の健康の保持、生活の安定、保健・医療・福祉の向上と増進など、さまざまな面から総合的に支えるために設けられた「高齢者の総合相談窓口」です。

特に①介護予防の推進②認知症に関する取り組みの充実③地域ケア会議を活かした地域づくり④権利擁護を重点目標とし、地域のあらゆるイベントや高齢者の集まりの場に出向いたり、計画的に地域住民や関係機関等との会議を開催するなど、「地域包括ケアシステムの構築」に努めています。



北多機関型地域包括支援センター



お気軽にご相談ください



分野を超えて、人と人を繋いでいます

CONNECT
〜つなぐ〜

からみあう福祉・介護の悩みは
多機関型地域包括支援センターへ

子育てや介護、障害、生活費、病気や仕事などのご家庭の悩みを抱え、どこに相談したらいいのかわからないといった方々に対して、悩みを一つ一つ整理しながら、様々な関係機関と協力し、解決に向けて支援していく相談窓口です。

また、そのような方々が課題を抱えながらも地域で暮らし続けていくことができるよう、分野を超えた専門職や地域住民とのネットワークづくりにも努めています。



幼保連携型認定こども園 とまちこども園



私たちの魅力

とまちこども園には職員と保護者をバックアップして下さる3人の相談役がいます。子育て相談は浦川末子先生。発達に関しては尾崎洋一郎先生。食育は神林光子先生。悩み事等個別相談にも応じて頂き、他園にはない支援体制が整っています。こどもに寄り添い支える保育教諭の平均年齢は37歳。元気と笑顔があふれる園です。

昭和24年に設置された長崎市立戸町保育所。地域に親しまれ、歴史ある園を平成23年長崎市より移譲され、社会福祉法人五蘊会戸町保育園としてスタートしました。平成27年に新たに認定を受け、幼保連携型認定こども園とまちこども園として再出発。定員90名に幼稚園タイプのお子さんを15名加えた105名に定員枠を広げ、現在約100名のお子さん方をお預かりしています。保護者及び地域と共に、確かな信頼関係のもと、子どもの健全な心身の発達を図り、その生活を保障しながら、生涯にわたる人間形成と教育の基礎を培う場であることを目指しています。

地域の人たちの
あたたかな愛情に育まれて

地域と共に 幼老共生



3歳児保育室



昨年度のお遊戯会



正門からみた園舎



キレイになった園舎でのびのびと!

園舎が新しくなりました!!



乳児室

4歳保育室

2歳保育室

1歳保育室

3歳保育室

5歳保育室



平成二十七年には子ども子育て支援法の改正により、「とまちこども園」号と名前を替

並走することが出来た。

平成一十三年四月、戸町保育園号は静かに大海原に漕ぎ出した。定員九〇名。クルー二十三名は各々の思いを胸に気が高ぶった。これから来るであろう幾多の嵐に備えて装備した浦川末子先生・尾崎洋一郎先生・神林光子先生は船自慢の最新鋭の装備である。船長もクルーもその胸の内は不安で一杯であったが、本船である五蘊会丸に見守られながら、安心して並走することが出来た。

ヨソロー!

法人とわたし



幼保連携型認定こども園 とまちこども園 園長

羽生 純子

え、新たな航海にでた。学童クラブという船団も加え、新しいクルーも増えた。百戦錬磨の筋縄ではいかない猛者たちだが頼もしく、今後の航海が楽しみだ。さらに、今年には船の大規模改修を行った。雨漏り、漏水、錆は船にとっては致命的。給排水管を取り換え、クルーの一番の楽しみである給食の厨房施設も一新した。これから先もたらふく旨いものが頂けると皆楽しみにしている。改修工事中は、永田理事長の号令二下、万全な法人のバックアップ体制により、事故一つ無かった。理事長によつて作詞・作曲された『園歌』に因んだ青い鯨とイルカを模った新しい看板は戸町の空に今雄々しく泳いでいる。皆様も是非見に来て頂きたい。

放課後児童クラブ ゆうゆうクラブ



私たちの魅力

毎月の会議や日々のミーティング等で児童の様子をしっかりと共有し、児童1人1人に向き合った育成支援に取り組んでいます。

大学生から退職された元校長先生まで幅広い年代の支援員がいることで、児童に対し様々なアプローチができることも、当クラブの強みです。



子どもと保護者の「笑顔」輝くゆうゆうクラブ

ゆうゆうクラブには、1年生から6年生までの児童が在籍しています。下校後クラブに来てからは、おやつを食べたり、友だちと遊んだり、宿題に取り組んだり元気に過ごしています。

夏休み等の長期休み期間中は、ボウリング場にいたり、消防局へ消火の訓練にいたり児童の成長に繋がる様な様々な行事を行っています。

当クラブは大浦小学校の敷地内にある施設で、学校の教室を勉強部屋として貸していたり、運動場や体育館を遊びの場として貸していたり、学校と連携して児童の育成支援にあたっています。



皆でボウリングへ

放課後児童クラブ とまちクラブ



私たちの魅力

少子化が言われる中、長崎でも珍しく児童数の多い戸町小学校の中にある学童クラブです。保護者が安心して子どもを預けられる児童クラブとして、放課後児童支援員の資格を持ち、子育て経験者の職員が児童や保護者に常に寄り添い、共に悩み、共に喜び、支援員自身も共に育ちながら、未来ある子ども達の成長を見守っています。



とまちクラブは保護者の声で誕生しました

とまちクラブは、とまちこども園保護者の長年の要望が実り、平成29年4月に戸町小学校の教室をお借りして開設し、3年目を迎えました。現在1年生から4年生までの約40名の児童が在籍しています。

とまちこども園の卒園児が多く在籍するものの、他園からの入所も受け入れています。育ちの連続性と信頼関係を基盤に、とまちこども園との連携に加え、小学校内設置の利点を生かして学校との連携、連絡も綿密に行われています。また、とまちこども園の相談役体制を活用し、「食育」「発達」「子育て支援」の立場から職員を対象とした園内研修や、保護者向けの講演会、個別面談なども行っています。



消防体験をしました

放課後児童クラブ こすもすクラブ



私たちの魅力

- 1 フェイストウフェイスを大切に、支援員全員が元気で明るく笑顔でいる事をモットーにしています
- 2 様々な体験を通して子どもの生きる力を育みます
- 3 地域と連携し、豊かな人材の力を借りて、豊かな心の子どもの育みます



毎日、子ども達の笑い声が絶えません



働く親にとって、学童クラブは安心安全な場所ではなくてはなりません。私たちは子供たちの安心・安全を第一に考えて日々を過ごしています。加えて、様々な人たちと連携し、力をお借りして、色々な体験を重視しながら、子どもたちの社会性や自主性を育てるべく頑張っています。子どもたちがこれからの共生社会を担う主体者になってくれるよう願いながら、日々子どもと共に過ごしています。

社会福祉法人「五蘊会」に運営主体が変わり、3年経過しました。場所も村松小学校内設置となり、90名の子どもたちが来所しています。

手を携えて
子どもの笑顔輝く学童を目指して

リーダーとしての学びを深める

3クラブ合同上級生リーダー研修

学童3クラブ共通の行事として、年に1度新学期を迎える前に、上級生を対象に「リーダー研修」を開催しています。

前回の研修では、諫早市のこどもの城館長・池田尚氏をお迎えし、ゲームなどの体験を通して、チームを引っ張るリーダーとしての資質や技能を学びました。



研修開始!



未来の
長崎を引っ張るリーダー達!



説明を真剣に聞いています



レクリエーションを自分たちで実践!



釘打ち遊びを体験!

五蘊会に期待を込めた メッセージをいただきました

なが た ひろ こ 永田 博子	理事	設立当初から今日、そしてこれからの出会いを大切に、事業の目的と重要性をさらに発信続けてほしいと思います。
あら き まさ ひろ 荒木 将博	理事	五蘊会の掲げる目的「利用者の意向の尊重」「創意工夫」「自立した生活の支援」に向かって精進し、愛される法人であり続けられますことを希求致します。
うら かわ すえ こ 浦川 末子	理事	①堅固な組織体制 ②法令遵守と制度改革への迅速な対応 ③質にこだわる専門的な議論の展開等、理事として相談役として最高に自慢できる法人です。
おし ぶち れい こ 押漕 禮子	理事	南長崎クリニックを礎として次々と施設を完成され素晴らしい社会貢献をなさっておられます。ますますのご繁栄をお祈りいたしております
さ とう まさ ひろ 佐藤 正洋	理事	令和の時代も進化する五蘊会。高齢者施設、認定こども園、地域包括支援センター、多機関型地域包括支援センターまで、市内のモデル事業として五蘊会には、長崎市、地域住民から大きな期待が寄せられています。
なか の よし くに 中野 吉邦	理事	創立10周年おめでとうございます。社会的障害を持つ人々に対し、援護、育成、更生にますます前進して下さい。
なが た まさ ひで 永田 雅英	監事	理事長先生の明るく前向きなご指導のもと、五蘊会は確実に成長してきたと感じています。その歩みに少しでもお手伝いできたことに感謝します。
さか い まさ よし 酒井 正義	監事	これからも現状の仕事に満足せず、絶えず高い目標を持ち、成長し続けてほしいと思います。(顔晴れ)
たき ぐち こう いち 瀧口 幸市	評議員	五蘊会・創業理念の本物のやさしさとで幼児から高齢者まで一安心。さらに躍進する五蘊丸の安全航海を祈る。
し だ せい ぞう 志田 清三	評議員	先を読むことが難しい時代に短期間で数々の事業を拡げ、人を創る法人だと思えます。10年後さらにどのように成長し発展していくのか楽しみです。
お の よし こ 小野 嘉子	評議員	五蘊会職員の方々笑顔から受ける優しさと強さ、その素晴らしいのさらなる輝きに学ばせて頂きたく期待致しております。
お ぐち たけ ひこ 尾口 武彦	評議員	社会福祉法人「五蘊会」の創業理念に徹し、健全なる法人運営に鋭意努められ、福祉事業を主体とする「五蘊会」のさらなる発展を期待します。
あい かわ ふみ こ 相川 文子	評議員	地域交流にも力を入れて下さり、なくてはならない親しまれる施設となっております。今後も子供たちと高齢者が愛と元気を与えあえるふれあいの場を沢山つくってください。
さか ぐち ひろ やす 坂口 弘康	評議員	地域に根差した施設づくりと北部地域の福祉を担う存在として、これからもがんばってもらいたい。
まつばやし ゆく こ 松林 征子	評議員	“優しさ”を基盤において、利用者が満足のいく自立した生活の実現のために、自らも成長しながら質の高いサービスの提供を続けられるよう期待しています。
まる お たけ お 丸尾 武夫	評議員	地域の各種行事に職員の皆様が手伝いに出て頂き、連合自治会内でも高評価です。今後もさらに地域に密着した経営理念を期待します。
みやもと けん じ 宮本 健志	評議員	五蘊会創立10周年おめでとうございます。今後も人の一生に関わる崇高な仕事を通じ、発展し続けることを期待します。
みちした さ ち こ 道下 佐智子	評議員	「30周年おめでとうございます」五蘊会!ワンチームでますますのご発展を祈念致します。
お ぎき よう いち ろう 尾崎 洋一郎	評議員	予測が困難な時代。子ども達には生きていく力の育成を、保護者には灯台の役割となるような存在を期待します。

医療法人社団 春秋会 | 沿革

- 1985年04月 医療法人【社団】春秋会 永田内科医院開設
1990年11月 医療法人【社団】春秋会 永田内科医院廃止
医療法人【社団】春秋会 南長崎クリニック開設
1996年06月 リハビリセンター、デイケアセンター増設
1999年05月 ホームヘルプサービス事業および2級ホームヘルパー養成事業開始
1999年06月 診療所療養型病床群設置
1999年08月 長崎市委託事業 在宅介護支援センター春秋会開設
2000年03月 二本松荘(デイサービス)及び二本松養生所(グループホーム)開設
2000年04月 南長崎クリニック居宅支援事業所開設
長崎市ガイドヘルパー派遣事業委託
2000年09月 訪問看護ステーション 長崎県指定
2001年04月 長崎市移送支援サービス委託
2002年03月 グループホームなんくり開設
2006年04月 大浦地域包括介護支援センター開設
2006年06月 十三番館クリニック開設
メディカルフィットネススマイル1開設
大浦十三番館デイサービス開設
2007年06月 小規模多機能ホームなんくり開設
2013年03月 小規模多機能ホームいきいき開設
2015年04月 定期巡回・随時対応型訪問介護看護および夜間対応型訪問介護を開始
2016年10月 南多機能型地域包括支援センター開設
2017年08月 看護小規模多機能ホームいきいき開設

社会福祉法人 五蘊会 | 沿革

- 2008年12月 社会福祉法人五蘊会 設立登記
2009年04月 長崎市から民間へ移譲
社会福祉法人五蘊会特別養護老人ホーム 琴の浦荘(琴海大平町)運営開始
※その後、居宅介護支援事業所、介護職員養成研修(ヘルパー養成講座)、
訪問介護事業所を開設
2011年04月 長崎市から民間へ移譲
社会福祉法人五蘊会 戸町保育園 として運営開始
2012年08月 長崎市琴海地域包括支援センター受託
2013年03月 琴の浦荘を琴海大平町から琴海戸根町に新築・移転
※その後、通所介護事業所、夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問
介護看護、障害福祉サービス事業、介護福祉士実務者研修講座事業、ミニデイ
サービス開設、長崎市委託事業(配食サービス事業・生活援助事業・生涯元気
事業・短期集中型通所サービス)を受託
2015年04月 戸町保育園を幼保連携型認定こども園「とまちこども園」へ移行
2016年07月 放課後児童クラブこすもすクラブの運営移譲
2016年10月 長崎市モデル事業「北多機能型地域包括支援センター」運営開始
2017年04月 地域密着型特別養護老人ホーム 緑風 開設・運営開始
※その後、居宅介護支援事業所を開設
放課後児童クラブゆうゆうクラブの運営移譲
放課後児童クラブとまちクラブの運営開始

春秋会・五蘊会拠点マップ



医療法人 春秋会

本部／南長崎クリニック
〒850-0921 長崎市松が枝町3番20号
TEL.095-827-3606
<http://www.syunjyu-kai.or.jp/>



社会福祉法人 五蘊会

本部／特別養護老人ホーム 琴の浦荘
〒851-3103 長崎市琴海戸根町743番地47
TEL.095-884-3510
<http://www.goungai.or.jp/>

